

国立二小の「働き方改革」

## 子供とかかわる時間の充実に向けて

国立第二小学校



学校を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、新学習指導要領の確実な実施など、学校教育の更なる充実が求められています。

こうした中、私たちは子供とかかわる時間の充実に向けて様々な工夫をしています。また、昨年度、国立市の学校教育がさらに充実するために、教職員の働き方を見直し、子供とかかわる時間の充実をめざした「働き方改革推進プラン」が国立市教育委員会から示されました。このプランに基づき、現在、本校で進めていることをまとめました。

### 1 スクールサポートスタッフ及び校務改善のための時間講師の活用

これまで教員が行っていた学級・教科指導に関する事務や、学校運営に関する校務をサポートするスクールサポートスタッフが配置されています。

また、今年度は東京都の新たな時数軽減のためのモデル校として、担任に代わって授業を進める時間講師が配置されました。これにより、教員が子供に直接かかわる時間や、授業等の準備を行う十分な時間の確保をします。

### 2 タイムカードの設置

教員が働く時間を意識し、ライフ・ワーク・バランスの充実を図るために、職員室にタイムカードが設置されています。これにより、一人一人が働く時間を意識し、自己の健康を管理することができ、子供とかかわる時間の充実につながっています。

### 3 電話での連絡

本校では、登校時間帯に教員が子供とかかわる時間を大切にするために、欠席等の連絡については、極力電話を使用せず、欠席カードを活用する等のご協力をいただいております。また、昨年度から、放課後の時間帯(午後6時以降)についても、緊急の電話以外は極力使用を控えていただき、教員が授業等の準備を十分に行い、子供とかかわる時間の充実をめざします。